

日本都市計画学会九州支部第6回幹事会議事録案

文責 黒瀬

日時：2004年3月16日 16:00～18:00

出席者：両角、堤、菅、松永、有馬、黒瀬

資料A：理事会報告

資料B：支部長賞授与リスト

資料C：九州支部平成16年度総会資料

議題1：支部長報告（両角：資料A）

- ・第5回理事会（平成15年11月7日）、第6回理事会（平成16年1月16日）、第7回理事会（平成16年3月5日）について資料Aをもとに報告があった。
- ・第6回理事会報告、国際委員会で平成16年9月11日～12日北海道で国際都市計画シンポジウムがあること、CPIJ ニュースレターNo.25の企画が検討中であること、関西支部で行政・大学・産業界の連携、中部支部で大学研究室紹介の活動がなされていることなど報告された。
- ・第7回理事会報告で会員数、委託費の減少、定款改正手続き、CPD（継続教育）の報告があった。九州支部からの評議員推薦において、土木系2名：渡辺千賀恵氏（九州東海大学）、渡辺義則氏（九州工業大学）、建築系2名：萩島哲氏（九州大学）、佐藤誠治氏（大分大学）、コンサル2名：梅本正紀氏（環境開発）、山本洋一氏（福山コンサル）の6氏を推薦したことなどが報告された。

議題2：事務局報告（有馬）

- ・支部ニュース32号について
現在、梶原氏（都市計画審議会研究会）からの原稿をレイアウト中である。他の研究会からの記事としてはアジア都市研究会からの記事のみ投稿があった。3月末を目標に発行する予定である。
- ・支部長賞授与について（資料B）
資料Bに基づいて報告があった。表彰状に研究、設計、活動の区別を記入してはどうかという意見があり、今後検討することになった。
- ・平成16年度幹事の選出方針について（資料C）
資料Cに基づいて説明があった。基本的には2年間の継続性から留任をお願いするが、官庁などの異動に伴う変更を行うことになり、異動状況をみて提案することになった。事務局の有馬先生が建築学会の役員に選出された場合には趙先生（九州大学）に年度途中で交替する可能性があることも了承された。

- ・平成16年度支部総会議案について

資料 C に基づいて議案書の内容について報告があった。議案書に「支部たよりの発行」を追加することになった。研究会については、平成16年度の予算状況から2年完結の研究会を新しく1つ立ち上げることで検討することになった。細部については幹事長と事務局で詰めることになった。日程としては4月23日14:30より幹事会、16:00より総会とし、場所については後日、事務局から連絡することになった。

議題3：平成16年度シンポジウム案について（黒瀬：資料D）

- ・資料Dに基づいて説明があった。「まちづくりと公共性」という全体テーマと研究会の個々のテーマ、パネルディスカッションのテーマ間にどのように共通性を持たせられるかが課題であるという意見があった。例えば、都市計画家の職能のような視点を加えて学生にも興味を持たせる工夫が必要、公共性は良いとしても具体性がないと輪郭がぼやけてしまう、これからのまちづくりの多様な側面を都市計画審議会のような大きな問題から個々のNPOや住民のまちづくりなどの小さな問題までリンクしていけば広がりのあるシンポにできる可能性はあるなどの意見が出された。
- ・今後は、実行委員会を立ち上げて会員からの意見をヒアリングし、テーマや内容をさらに検討していくことになった。

その他

- ・次回幹事会：4月23日（金）14:30～15:30